

Ⅲ 救急・救助

第1 救急活動の概況

1 救急業務実施体制

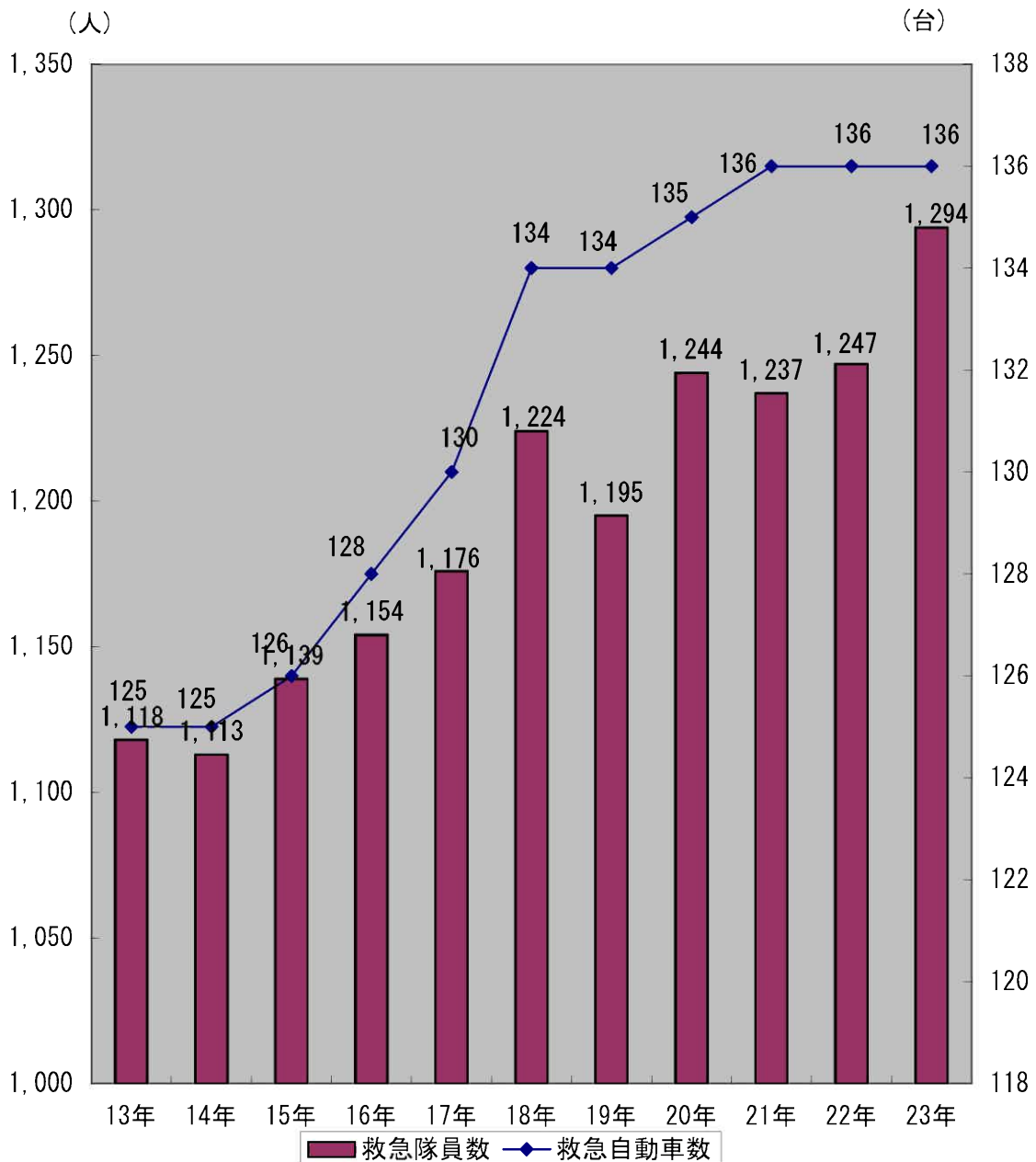
平成23年4月1日において救急業務を実施している市町村は41市町村で、県人口の99.9%がカバーされている。

救急自動車の保有台数は136台、救急隊員は1,294人（専任314人、兼任980人）で、前年に比べ救急隊員は47人増加している。また、救急告示医療機関は96機関、その他医療機関は1,578機関となっている。

平成3年8月にプレホスピタル・ケア充実の一環として、救急隊員の行う応急処置の範囲が拡大されるとともに、高度な応急処置を行うための新たな国家資格制度として救急救命士制度が導入され、救命率の向上を目指した救急業務の高度化が推進されている。

平成23年4月1日現在、県内全消防本部で救急救命士を運用（一部運用を含む）しており、資格者合計406名のうち380名が救急業務に従事している。

図-1 平成13年以降の救急自動車及び救急隊員数の推移 (各年4月1日現在)



2 救急業務実施状況

(1) 概要

平成22年中における救急出場件数は69,551件、搬送人員は64,804人で、いずれも過去最多となった。

また、これを昨年と比べると救急出場件数は3,186件（4.8%）の増加、搬送人員は2,720人（4.4%）の増加となっている。

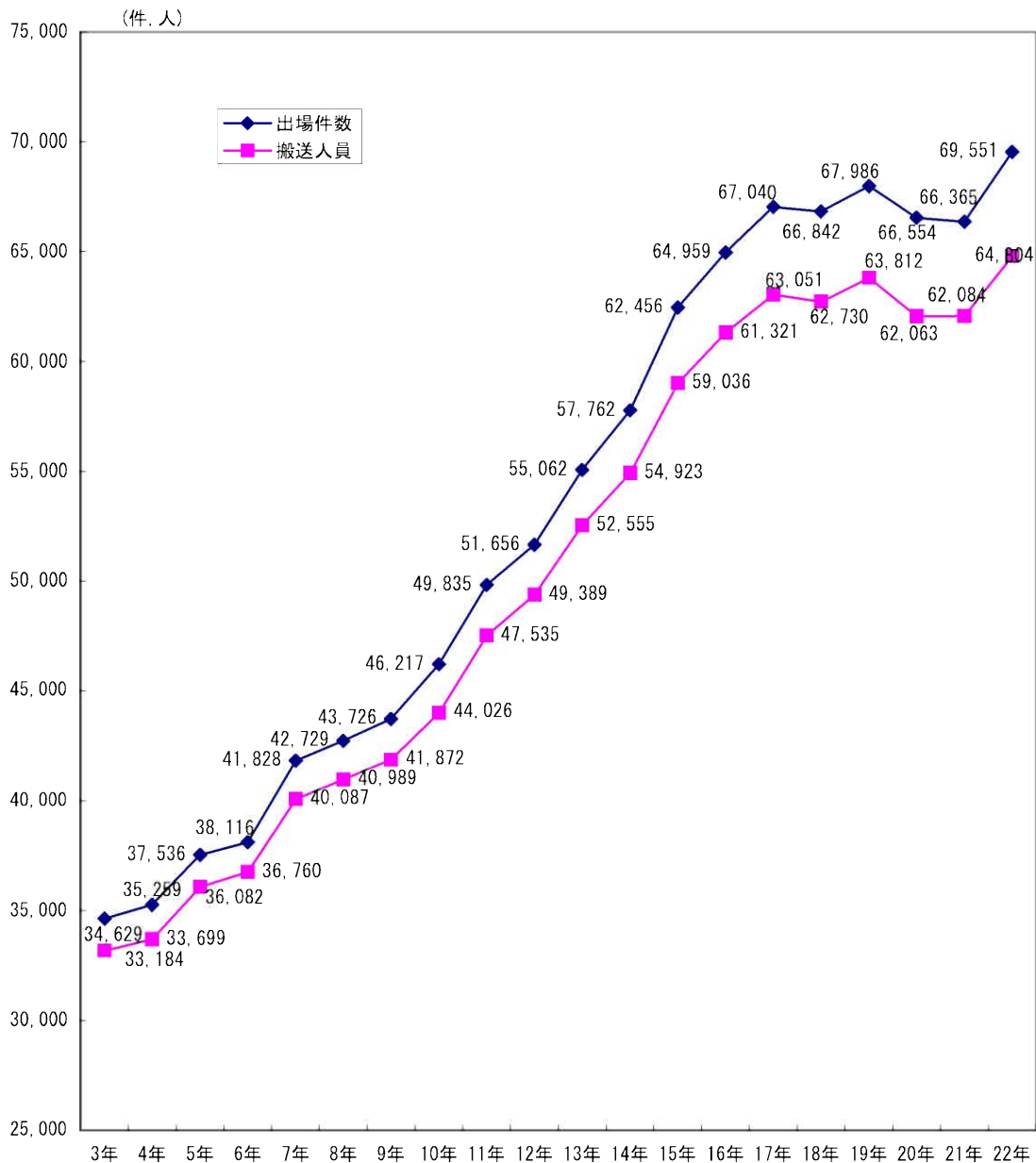
これは、1日平均190.6件（前年181.8件）、約7.6分に1回の割合で救急隊が出場し、また1日平均177.5人（前年170.1人）、約8.1分に1人、約26人に1人の割合で搬送されている。

事故種別救急出場件数は、前年と同じく1位が急病で37,341件（全体の56.3%）、次いで一般負傷8,402件（同12.7%）、交通事故が6,378件（同9.6%）となっている。

なお、搬送人員については、救急出場件数と同様、1位が急病で39,829人（全体の56.6%）、次いで一般負傷が8,382人（同12.9%）、交通事故が6,593人（同10.2%）となり、上位3位までで全体の79.7%を占めている。

平成3年からの県内救急活動の推移は下図のとおりであり、これまで増加の一途をたどっていた搬送人員・出場件数は、平成17年からほぼ横ばいとなっていたが、平成22年は再び増加に転じ、これまでの最多であった平成19年を超え過去最多となった。

図-2 平成3年以降の救急出動件数、搬送人員の推移



(2) 事故種別、傷病程度別及び年齢区分別搬送人員の状況

表-1 事故種別出場件数及び搬送人員の状況

(単位：件、人、%)

区分	計	構成比	急病	構成比	交通事故	構成比	一般負傷	構成比	その他	構成比	
											平成22年
平成22年	搬送人員	64,804	100.0	36,681	56.6	6,593	10.2	8,382	12.9	13,148	20.3
平成21年	出場件数	66,365	100.0	37,341	56.3	6,378	9.6	8,402	12.7	14,244	21.5
平成21年	搬送人員	62,084	100.0	34,436	55.5	6,641	10.7	7,941	12.8	13,066	21.0
増減	出場件数	3,186	—	2,488	—	△ 44	—	581	—	161	—
	搬送人員	2,720	—	2,245	—	△ 48	—	441	—	82	—

(注) その他は、火災・自然災害・水難・労働災害・運動競技・加害・自損行為・その他(転院搬送・医師搬送・資機材等搬送・その他)を示す。

ア 年齢別搬送人員

搬送人員の年齢別事故種別をみると、高齢者、成人では、急病が高い率を占め、少年は交通事故が高い比率を占めている。

表-2 年齢別搬送人員の状況

(単位：人、%)

区分	計	構成比	急病	構成比	交通事故	構成比	一般負傷	構成比	その他	構成比
新生児	147	100.0	18	12.2	0	0.0	6	4.1	123	83.7
乳幼児	2,471	100.0	1,502	60.8	186	7.5	518	21.0	265	10.7
少年	2,384	100.0	799	33.5	788	33.1	289	12.1	508	21.3
成人	22,233	100.0	11,888	53.5	4,039	18.2	1,984	8.9	4,322	19.4
高齢者	37,569	100.0	22,474	59.8	1,580	4.2	5,585	14.9	7,930	21.1
合計	64,804	100.0	36,681	56.6	6,593	10.2	8,382	12.9	13,148	20.3

(注) 新生児：生後28日未満の者

乳幼児：生後28日以上満7歳未満の者

少年：満7歳以上満18歳未満の者

成人：満18歳以上満65歳未満の者

高齢者：満65歳以上の者

イ 傷病程度別搬送人員

平成22年中における搬送人員は64,804人であるが、これを傷病程度別にみると、軽症、中等症の両者で全体の83.6%を占めている。

表-3 傷病程度別搬送人員の状況（事故種別）

（単位：人、％）

区 分	合計	構成比	死亡	構成比	重症	構成比	中等症	構成比	軽症	構成比	その他	構成比
自然災害	13	100.0			2	15.4	8	61.5	2	15.4	1	7.7
水難	56	100.0	12	21.4	15	26.8	15	26.8	13	23.2	1	1.8
交通事故	6,593	100.0	33	0.5	399	6.1	1,734	26.3	4,425	67.1	2	0.0
労働災害	456	100.0	8	1.8	77	16.9	219	48.0	151	33.1	1	0.2
運動競技	454	100.0			19	4.2	164	36.1	269	59.3	2	0.4
一般負傷	8,382	100.0	45	0.5	1,107	13.2	3,541	42.2	3,683	43.9	6	0.1
加害	307	100.0			9	2.9	94	30.6	203	66.1	1	0.3
自損行為	708	100.0	44	6.2	132	18.6	326	46.0	206	29.1		
急病	36,681	100.0	469	1.3	4,132	11.3	18,261	49.8	13,803	37.6	16	0.0
その他	11,068	100.0	12	0.1	3,994	36.1	6,555	59.2	407	3.7	100	0.9
計	64,804	100.0	625	1.0	9,901	15.3	30,943	47.7	23,205	35.8	130	0.2

※ 死 亡：初診時において、死亡が確認されたもの
 重 症：傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
 中等症：傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの
 軽 症：傷病の程度が入院を必要としないもの
 その他：医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの

また、年齢別にみると、新生児、高齢者の場合は中等症の割合が高いのに対し、乳幼児、少年、成人の場合は、軽症の比率が高くなっている。

表-4 傷病程度別搬送人員の状況（年齢別区分）

（単位：人、％）

区 分	合計	構成比	死亡	構成比	重症	構成比	中等症	構成比	軽症	構成比	その他	構成比
乳幼児	2,471	100.0	6	0.2	109	4.4	666	27.0	1,686	68.2	4	0.2
少年	2,384	100.0	1	0.0	113	4.7	742	31.1	1,528	64.1		
成人	22,233	100.0	130	0.6	2,283	10.3	9,159	41.2	10,621	47.8	40	0.2
高齢者	37,569	100.0	486	1.3	7,342	19.5	20,305	54.0	9,355	24.9	81	0.2
計	64,804	100.0	625	1.0	9,901	15.3	30,943	47.7	23,205	35.8	130	0.2

- (3) 現場到着所要時間及び収容所要時間の状況
 平成22年中の救急出場件数69,551件について現場到着所要時間別（救急事故の覚知から現場に到着するまでに要した時間別）の状況を示したものが下表である。
 これによると最も多いのは、5分以上～10分未満の37,019件で全体の53.2%を占めている。

表-5 現場到着時間別出場件数

区分	計	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	収容平均 所要時間	
							県	全国
急病	39,829	1,200	5,347	21,564	10,834	884	8.2分	—
交通事故	6,334	233	1,019	3,369	1,570	143	8.0分	—
一般負傷	8,983	313	1,260	4,853	2,330	227	8.2分	—
その他	14,405	978	3,804	7,233	2,175	215	6.7分	—
計	69,551	2,724	11,430	37,019	16,909	1,469	7.9分	8.1分
構成比	100.0%	3.9%	16.4%	53.2%	24.3%	2.1%	—	—

平成22年中の搬送人員64,804人について、収容所要時間別（救急事故の覚知から医療機関に収容するまでに要した時間別）の状況を示したものが下表である。
 これによると搬送人員のうち33,435人（51.3%）が収容に30分以上要している。

表-6 収容所要時間搬送人員

区分	計	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分 以上	収容平均 所要時間	
								県	全国
急病	36,681	61	4,277	13,054	17,479	1,773	37	33.2分	—
交通事故	6,593	13	867	2,438	2,972	295	8	32.5分	—
一般負傷	8,382	15	1,017	2,824	4,015	479	32	34.3分	—
その他	13,148	41	2,827	3,865	5,024	1,314	77	34.8分	—
計	64,804	130	8,988	22,181	29,490	3,861	154	33.6分	37.4分
構成比	100.0%	0.2%	13.9%	34.2%	45.5%	6.0%	0.2%	—	—

(4) 転送の状況

搬送人員64,804人のうち99.2%は、転送なしで収容されているが、0.8%（506人）にあたる人は転送されている。

そのうち、転送回数1回の者が転送者全体の99.2%を占めている。

表-7 転送回数別搬送人員の状況

区分	計	急病	交通事故	一般負傷	その他	
転送なし	64,298	36,361	6,560	8,292	13,085	
転送	1回	502	319	32	88	63
	2回	4	1	1	2	
	3回					
	4回					
	5回以上					
	小計 (A)	506	320	33	90	63
計 (B)	64,804	36,681	6,593	8,382	13,148	
転送率 (A)/(B) × 100	0.8	0.9	0.5	1.1	0.5	

転送理由についてみると、救急告示医療機関、非告示医療機関ともに処置困難が多く、次いで専門外、ベッド満床の順になっている。

表-8 医療機関転送理由の状況

(単位：件、%)

区分	合計	ベッド満床	専門外	医師不在	手術中	処置困難	理由不明	その他
救急告示	構成比	100.0	4.2	30.5	1.8		44.3	19.2
		167	7	51	3		74	32
非告示	構成比	100.0	5.1	26.4	0.6	0.3	56.2	0.6
		333	17	88	2	1	187	2
計	構成比	100.0	4.8	27.8	1.0	0.2	52.2	0.4
		500	24	139	5	1	261	2

(5) 救急隊員の行った応急処置の状況

平成22年中に転送された人員のうち、救急隊員によって応急処置された人の事故種別、処置項目状況をみると、急病においては、血中酸素飽和度の測定が最も多く、次いで血圧測定が多い。

また、交通事故、一般負傷においても、血中酸素飽和度の測定・血圧測定の順で処置が多くなっている。

表-9 救急隊員の行った応急処置の状況

(単位:人)

処置項目	事故種別	計	急病	交通事故	一般負傷	その他				
	応急処置対象 搬送人員	63,243	36,398	6,434	8,201	12,210				
止	血	1,677	177	402	882	216				
固	定	5,091	137	3,145	1,288	521				
人	工	呼	吸	338	219	13	30	76		
心	マ	ツ	サ	ー	ジ	136	86	6	12	32
心	肺	蘇	生	1,599	1,235	51	130	183		
酸	素	吸	入	16,318	10,296	688	749	4,585		
気	道	確	保	2,450	1,827	79	199	345		
(再掲)気道確保のうち気管挿管		187	124	3	39	21				
保	温	2,471	1,660	127	304	380				
被	覆	3,852	121	1,389	1,881	461				
在	宅	療	法	継	続	127	110	6	11	
ショックパンツによる血圧保持		7	7							
除	細	動	243	201	4	14	24			
静脈路確保(輸液)		269	205	4	31	29				
薬	剤	投	与	81	65	8	8			
血	圧	測	定	57,401	33,746	6,045	7,477	10,133		
聴診器による心音・呼吸音等の聴取		8,409	5,926	890	773	820				
血中酸素飽和度の測定		60,754	35,115	6,237	7,862	11,540				
心	電	図	17,516	13,438	578	905	2,595			
その他の応急処置		19,226	13,870	967	1,898	2,491				
計(再掲の気管挿管を除く)		197,965	118,441	20,625	24,449	34,450				

(注) 一人につき複数の応急処置を行うこともあるため、応急処置対象搬送人員と事故種別ごとの処置項目の計の数は一致しない。

(6) 高速道路における救急業務の状況

高速自動車国道における救急業務実施体制は、平成23年4月1日現在、九州縦貫自動車道のうち鹿児島インターチェンジから宮崎インターチェンジ並びにえびのインターチェンジから人吉インターチェンジまでを沿線2市2組合で、相互応援協定を締結し、上下線方式により、第1次出場をインターチェンジ所在の常備消防が担当する体制を整えている。東九州自動車道31.7kmは沿線1市1組合が担当している。

県内においては、上り線が鹿児島インターチェンジから宮崎県えびのインターチェンジまでの69.8kmについて、第1次出場を担当し、救急業務を行っている。

なお、平成22年中の本県における救急活動は、下表のとおりである。

高速自動車道における救急活動状況

表-10 九州自動車道

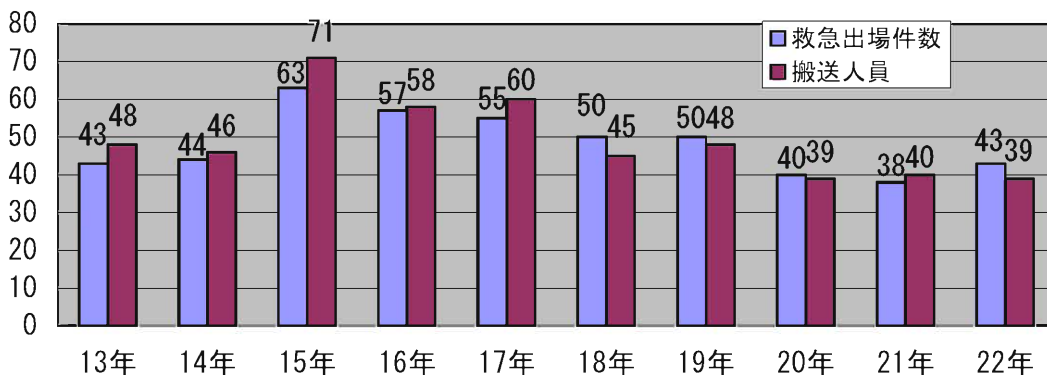
区 分	インターチェンジ名 (I C)	救急出場件数	搬送人員	救急告示医療機関数	高速道路における救急活動開始年月日
鹿児島市消防局	鹿児島	2	2	24	昭和63.3.29
	鹿児島北	13	12	3	昭和52.11.15
	薩摩吉田	2	2		昭和48.12.13
姶良市消防本部	姶良	2	1	1	昭和48.12.13
	加治木	11	10	1	昭和48.12.13
霧島市消防局	溝辺鹿児島空港	4	2		平成17.11.7
	横川	5	5		平成17.11.7
伊佐湧水消防組合	栗野	4	5		昭和55.3.22
計	8 I C	43	39	29	

(注) 医療機関は、インターチェンジから半径5キロメートルの範囲にあるものである。

表-11 東九州自動車道

区 分	インターチェンジ名 (I C)	救急出場件数	搬送人員	救急告示医療機関数	高速道路における救急活動開始年月日
霧島市消防局	国分	6	5	3	平成14.3.2
	隼人東			1	平成12.3.4
大隅曾於地区消防組合	末吉財部	1			平成14.5.9
計	3 I C	7	5	4	

図-3 最近10年間の高速自動車道における救急出場件数及び搬送人員



3 プレホスピタル・ケアの充実

プレホスピタル・ケア（救急現場及び搬送途上における応急処置）の一層の充実を図るために、平成3年8月に「救急隊員の行う応急処置等の基準」が改正され、これに伴い消防学校における新たな教育訓練（救急標準課程（平成16年4月1日より救急科に改称）及び救急Ⅱ課程）の修了者は、従来の応急処置に加えて9項目の処置を行うものとされ、救急救命士資格者は、医師の指示の下にさらに高度な応急処置（特定3項目）をも行うものとされた。

これに伴い、消防学校における救急科（救急標準課程）の修了者が計画的に養成されるとともに、救急救命士についても県内全消防本部において運用され、資格者、高規格救急自動車のいずれも着実に増加している。また、救急救命士の質の向上による救命効果を高めるため、平成15年2月に消防機関、救急医療機関、医師会などにより構成される鹿児島県救急業務高度化協議会を、同年3月に6地域（薩摩、北薩、姶良伊佐、大隅、熊毛、大島）に地域救急業務高度化協議会を設置し、本県における救急業務の高度化について協議を行い、平成15年4月から包括的除細動を実施し、平成16年7月から認められた医師の具体的指示下での気管挿管についても救急業務高度化協議会で承認された病院で、体制の整った消防本部から順次病院実習を実施し、218名が認定を受け17消防本部で実施が可能となっている。また、平成18年4月から認められた医師の具体的指示下での薬剤投与についても222名が認定・登録を受け、17消防本部で実施が可能となっている。

さらに、救急現場近くの一般市民による応急手当を促進するため、平成22年12月末までに応急手当指導員2,239名、応急手当普及員464名が県内消防本部により養成され、住民に対する応急手当講習会が次のとおり実施されている。なお、平成16年12月に応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱の一部改正により、非医療従事者による自動体外式除細動器（AED）の使用が可能となったことから、AEDの内容を含めた救命講習の実施率が高くなっている。

平成22年中の住民に対する応急手当講習会実施状況

普通救命講習	1,373回	16,365名	受講
上級救命講習	20回	274名	受講
その他の講習	1,747回	63,095名	受講
計	3,140回	79,734名	受講

表-12 救急業務高度化の：

各年4月1日現在

区分	平成22年	平成21年	対前年比較	
			増減数	増減率
救急救命士運用消防本部数	19	19		1.00
救急隊員数①	1,294	1,237	57	1.05
うち救急救命士有資格者② (②／①：%)	380 (29.4%)	342 (27.6%)	38	1.11
(②のうち気管挿管認定者)	188	154	34	1.22
(②のうち薬剤投与認定者)	165	113	52	1.46
うち救急科（救急標準課程）・ 救急Ⅱ課程修了者③ (③／①：%)	865 (66.8%)	829 (67.0%)	36	1.04
救急自動車数④	136	136		1.00
うち高規格車⑤ (⑤／④：%)	70 (51.5%)	59 (43.4%)	11	1.19
救急隊数⑥	106	104	2	1.02
うち救急救命士運用隊⑦ (⑦／⑥：%)	88 (83.0%)	77 (74.0%)	11	1.14

※1 救急救命士については、上記380名の外、救急自動車に同乗しない資格者が26名いる（有資格者は、406名）

る。

表-13 救急業務実施体制等の状況（消防本部設置市町村）

区分 消防本部別	人口 (人) H22年 国調	面積 (km ²) H22. 10. 1 国地院	救急業務実施体制											
			救急車総数			救急 隊数	救急 救命 士運 用隊 数	救急隊員数						
			うち 高規 格	うち 予備 車	計			うち資格者・修了者			専任	兼任		
								救急 救命 士	標準 課程	救急 Ⅱ課 程				
鹿児島市消防局	605,846	547.06	20	13	5	15	10	144	50	61	28	79	65	
出水市消防本部	55,621	330.06	4	3	1	3	3	45	17	17	4	16	29	
垂水市消防本部	17,248	162.03	3	1	1	2	1	32	8	19	5		32	
薩摩川内市消防局	99,589	683.50	9	3	2	7	4	79	28	35	12	29	50	
日置市消防本部	50,822	253.06	5	3	2	3	3	49	14	22	7	14	35	
霧島市消防局	127,487	603.68	8	5		8	8	99	29	55	13	29	70	
いちき串木野市消防本部	31,144	112.04	3	2	1	2	2	34	10	14	8		34	
始良市消防本部	74,809	231.32	5	3	2	3	2	37	11	16	5	32	5	
さつま町消防本部	24,109	303.43	3	2	1	2	2	26	10	10	6	9	17	
指宿地区消防組合	57,313	※2 149.01	5	3		5	5	58	19	36	3		58	
南薩地区消防組合	88,490	※3 716.10	11	4	1	10	10	135	30	75	29	30	105	
阿久根地区消防組合	34,259	250.53	6	3	2	4	2	54	10	25	18		54	
伊佐湧水消防組合	40,899	536.69	6	3	1	5	3	57	14	22	19		57	
大隅曾於地区消防組合	86,470	781.22	7	5		7	7	57	28	21	8	42	15	
大隅肝属地区消防組合	146,834	1,160.93	10	5	1	9	9	102	32	42	15	26	76	
沖永良部与論地区 広域事務組合消防組合	19,247	114.17	4		2	2	2	36	8	13	15		36	
徳之島地区消防組合	25,587	247.92	4		1	3	1	40	5	14	21		40	
熊毛地区消防組合	45,454	994.96	10	5	4	6	6	89	29	22	38		89	
大島地区消防組合	73,939	878.30	13	7	3	10	8	121	28	50	42	8	113	
計	1,705,167	9,056.01	136	70	30	106	88	1,294	※1 380	569	296	314	980	

※1 救急救命士については、上記380名の外、救急自動車に同乗しない資格者が26名いる。
(有資格者は、406名)

※2 面積について、指宿地区消防組合には南九州市旧穎娃町分を含んでいない。

※3 南薩地区消防組合には南九州市旧穎娃町分を含んだ面積である。

[現場到着平均所要時間及び収容平均所要時間は平成22年中、左記以外は平成23年4月1日現在]

合計	医療機関数										人口10万人当たりの救急医療機関数	現場到着平均所要時間(分)	収容平均所要時間(分)
	救急告示医療機関					その他の医療機関							
	国公立	公的	私的		計	国公立	公的	私的		計			
病院			診療所	病院				診療所					
635	3	3	28	3	37	15	6	66	511	598	6.1	7.5	28.7
40	2				2			4	32	38	3.6	7.4	33.4
10	1		1		2			1	7	8	11.6	5.2	32.4
129		1	4		5	16	4	11	93	124	5.0	8.4	33.6
42			1		1	1		7	33	41	2.0	8.0	36.4
119	1		4	2	7	1		12	99	112	5.5	8.5	38.2
30								8	22	30		5.0	28.5
104			2		2	3		10	89	102	2.7	6.5	30.2
20								6	14	20		8.8	39.0
50	1		3	1	5			9	36	45	8.7	5.8	31.6
89	2		5		7	4		12	66	82	7.9	6.3	33.3
21			2		2	2		1	16	19	5.8	8.4	39.2
32	1		2		3			4	25	29	7.3	7.1	34.6
65			1	1	2			9	54	63	2.3	9.5	41.3
149	2		5	2	9	14		14	112	140	6.1	10.1	39.2
12			2		2				10	10	10.4	7.7	27.2
13			2		2	1		1	9	11	7.8	8.4	33.6
25	1		2		3	4		2	16	22	6.6	8.5	35.9
89	1		4		5	7		5	72	84	6.8	9.1	39.0
1,674	15	4	68	9	96	70	10	182	1,316	1,578	5.6	7.9	33.6

表-14 消防本部救急出場件数及び搬送人員

区分		事故種別救急出場件										
		計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病
消防本部名												
鹿児島市消防局		22,629	116		11	2,292	149	167	2,825	175	370	12,967
出水市消防本部		2,059	2		2	232	22	11	249	4	36	1,206
垂水市消防本部		885	2			84	3	2	98		14	510
薩摩川内市消防局		3,724	22	1	7	330	16	23	439	19	58	2,210
日置市消防本部		1,998	3		3	145	10	22	277	3	25	1,142
霧島市消防本部		5,175	7	1	4	621	38	41	623	26	82	2,851
いちき串木野市消防本部		1,295			2	97	16	5	173	7	15	605
始良市消防本部		2,829	4		3	257	20	19	427	8	53	1,611
さつま町消防本部		1,063	4	1		66	9	5	141	2	15	607
指宿地区消防組合		2,343		1	7	197	14	16	307	5	29	1,189
南薩地区消防組合		3,937	3		4	347	39	24	501	15	44	2,001
阿久根地区消防組合		1,850	2		5	111	11	9	242	8	13	1,067
伊佐湧水消防組合		1,829	4		2	125	9	6	258	4	26	943
大隅曾於地区消防組合		3,660	7	1	3	298	41	16	452	16	49	2,255
大隅肝属地区消防組合		5,947	4		5	670	33	30	712	25	80	3,309
沖永良部与論地区広域事務組合		665			2	48	6	6	98	1	11	407
徳之島地区消防組合		1,716	2		4	77	4	16	261	17	14	1,218
熊毛地区消防組合		1,905	4	1	9	110	18	11	283	8	30	1,216
大島地区消防組合		4,042	5	8	13	227	6	23	617	28	46	2,515
計		69,551	191	14	86	6,334	464	452	8,983	371	1,010	39,829
時間区分	0~2	3,087	11		4	142	8	1	362	71	69	2,104
	2~4	2,433	10			116	2		239	51	52	1,759
	4~6	2,403	13	1	2	119	5	1	220	32	47	1,807
	6~8	4,589	14	2	8	550	18	2	571	15	79	3,085
	8~10	8,198	17	1	7	828	84	30	1,156	14	85	4,392
	10~12	8,723	23	3	12	711	82	111	1,045	11	89	4,212
	12~14	8,020	18	3	11	715	73	87	918	17	97	4,028
	14~16	7,335	24		16	734	91	96	1,074	15	88	3,636
	16~18	7,572	16	1	15	924	62	52	1,137	16	113	3,763
	18~20	7,108	22	1	4	830	18	36	942	28	128	4,244
	20~22	5,698	15		5	387	9	33	756	38	95	3,784
22~24	4,385	8	2	2	278	12	3	563	63	68	3,015	

〔平成22年中〕

数				事 故 種 別 搬 送 人 員											
そ の 他				計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
転院搬送	医師搬送	資機材等送	その他												
3,046	1		510	20,656	26		7	2,319	147	168	2,618	149	289	11,884	3,049
276	2		17	1,912			2	254	19	11	221	4	22	1,103	276
170			2	863	1			115	3	2	94		8	470	170
588			11	3,449	10		4	325	16	22	419	15	42	2,041	555
367			1	1,918	3		1	157	10	22	271	4	17	1,067	366
878			3	4,824	7	1	5	600	38	41	583	18	56	2,605	870
371			4	1,242			1	102	15	6	159	5	9	574	371
426			1	2,671	5		3	270	20	18	402	8	30	1,491	424
212			1	1,010	5	2		65	9	5	136	1	11	565	211
574			4	2,239			7	217	13	16	293	3	18	1,098	574
938	1		20	3,779	3		2	370	38	25	486	16	25	1,873	941
374	1		7	1,806	2		4	124	11	9	236	8	12	1,026	374
448			4	1,753	3		1	147	9	6	246	5	16	874	446
512			10	3,495	6	1		333	41	16	429	12	25	2,118	514
1,062	4		13	5,704	4		4	743	33	32	673	18	59	3,082	1,056
79			7	621			2	45	6	6	93	1	9	376	83
102			1	1,641	2		4	80	4	16	248	15	11	1,162	99
211			4	1,825	4		5	124	18	11	271	4	20	1,161	207
457	1		96	3,396	5	9	4	203	6	22	504	21	29	2,111	482
11,091	10		716	64,804	86	13	56	6,593	456	454	8,382	307	708	36,681	11,068
234			81	2,783	9		3	144	8		326	65	58	1,937	233
146			58	2,232	5			118	2		223	46	45	1,642	151
112	1		43	2,177	7	1		108	5	1	200	22	35	1,688	110
188	1		56	4,254	7	1	1	577	18	2	538	12	42	2,860	196
1,525			59	7,702	5		5	860	82	28	1,109	12	53	4,050	1,498
2,353	3		68	8,210	15	2	11	718	82	114	1,003	10	56	3,848	2,351
1,984			69	7,557	7	5	8	756	68	86	838	15	74	3,708	1,992
1,500			61	6,913	7		10	788	90	99	1,029	11	55	3,321	1,503
1,419	1		53	7,118	8	2	9	986	63	52	1,065	10	75	3,441	1,407
790	2		63	6,584	10		3	855	18	36	880	23	87	3,889	783
525			51	5,287	3	1	4	407	9	33	673	31	74	3,524	528
315	2		54	3,987	3	1	2	276	11	3	498	50	54	2,773	316

表-15 曜日別月別救急出場件数調

(平成22年中)

事故種別 区分		火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	そ の 他				計
												転院 搬送	医師 搬送	資機 材等 輸送	その 他	
曜 日 別	月	24		10	956	69	40	1,221	62	152	5,928	1,861			102	10,425
	火	29	1	8	946	79	41	1,156	39	164	5,576	1,767	3		105	9,914
	水	30	3	13	913	77	41	1,181	44	161	5,320	1,609	4		95	9,491
	木	27	5	11	863	57	41	1,232	47	146	5,393	1,619	2		91	9,534
	金	29		9	917	62	33	1,291	45	141	5,705	1,818			103	10,153
	土	22	4	12	896	78	102	1,457	61	121	5,879	1,455			92	10,179
	日	30	1	23	843	42	154	1,445	73	125	6,028	962	1		128	9,855
計		191	14	86	6,334	464	452	8,983	371	1,010	39,829	11,091	10		716	69,551
月 別	1月	21		6	473	45	17	824	36	66	3,797	969	2		62	6,318
	2月	14		6	464	30	19	664	13	71	2,937	868	1		45	5,132
	3月	22	1	3	521	42	37	743	28	90	3,319	875			46	5,727
	4月	17		7	501	38	27	706	31	79	3,402	1003			52	5,863
	5月	16		6	525	37	58	747	41	94	3,150	894			64	5,632
	6月	19	2	6	525	28	46	625	32	80	2,907	824			65	5,159
	7月	9	3	12	456	38	41	732	43	101	3,225	894	1		66	5,621
	8月	9		19	591	48	59	770	33	109	3,565	970	1		77	6,251
	9月	14		7	467	47	41	683	26	96	3,181	864	1		50	5,477
	10月	16	8	7	555	36	43	751	32	67	3,133	993	2		71	5,714
	11月	17		3	620	36	45	775	29	81	3,268	925			55	5,854
	12月	17		4	636	39	19	963	27	76	3,945	1,012	2		63	6,803

第4 応急手当指導員等養成講習の状況

表-16

【指導員】

区分	講習修了者数						登録を抹消した者	講習回数
	計	消防職員	消防職員の退職者	消防団員	救命士等の医療従事者	その他		
平成22年中修了者	応急手当指導員講習Ⅰ	15	8	3		4	7	27
	応急手当指導員講習Ⅱ	94	29		65			4
	応急手当指導員講習Ⅲ	4			2		2	
	消防長認定者	17	15	2			2	
	応急手当指導員講習Ⅰ免除者	6	6					
	計	136					9	31
前年中までの修了者	応急手当指導員講習Ⅰ	514	451	18		45	7	112
	応急手当指導員講習Ⅱ	1,040	411	4	625			67
	応急手当指導員講習Ⅲ	2	1			1		
	消防長認定者	425	370	10		45	14	
	応急手当指導員講習Ⅰ免除者	122	120			2		
	計	2,103	1,353	32	625	93	21	179
合計	2,239	1,353	32	625	93	30	210	

表-17

【普及員】

区分	講習修了者数						登録を抹消した者	講習回数
	計	消防職員	消防職員の退職者	消防団員	救命士等の医療従事者	その他		
平成22年中修了者	応急手当普及員講習Ⅰ	64	3		33	2	26	7
	応急手当普及員講習Ⅱ							
	消防長認定者	16	8				8	
	応急手当普及員講習Ⅱ免除者							
	計	80	11		33	2	34	7
前年中までの修了者	応急手当普及員講習Ⅰ	252	101		24	1	126	33
	応急手当普及員講習Ⅱ	13				13		13
	消防長認定者	119	94	8		8	9	7
	応急手当普及員講習Ⅱ免除者							
	計	384	195	8	24	22	135	53
合計	464	206	8	57	24	169	60	

第2 救助活動の概況

1 救助業務実施体制

平成23年4月1日現在、救助隊は34隊配置されており、そのうち5隊が特別救助隊で、1隊が高度救助隊である。

また、404人の救助隊員のうち44.6%にあたる180人が専任救助隊員である。

表-18 救助体制

(単位：隊、人)

区分 消防本部名	省 令	救助隊数			救助隊員数		
		専任救助隊	兼任救助隊	計	専任救助隊員	兼任救助隊員	計
鹿 児 島 市 消 防 局	3	3		3	42		42
	4	2		2	28		28
	5	1		1	14		14
出 水 市 消 防 本 部	3	1		1	8		8
	4						
	5						
垂 水 市 消 防 本 部	3		1	1		7	7
	4						
	5						
薩 摩 川 内 市 消 防 局	3	1	1	2	10	10	20
	4	1		1	10		10
	5						
日 置 市 消 防 本 部	3		1	1		11	11
	4						
	5						
霧 島 市 消 防 局	3		2	2		16	16
	4						
	5						
い ち き 串 木 野 市 消 防 本 部	3		1	1		5	5
	4						
	5						
始 良 市 消 防 本 部	3	1		1	8		8
	4						
	5						
さ つ ま 町 消 防 本 部	3		1	1		15	15
	4						
	5						
指 宿 地 区 消 防 組 合	3		1	1		10	10
	4						
	5						
南 薩 地 区 消 防 組 合	3		2	2		30	30
	4						
	5						
阿 久 根 地 区 消 防 組 合	3		1	1		13	13
	4						
	5						
伊 佐 湧 水 消 防 組 合	3		2	2		23	23
	4						
	5						
大 隅 曾 於 地 区 消 防 組 合	3	2		2	16		16
	4	1		1	8		8
	5						
大 隅 肝 属 地 区 消 防 組 合	3	1	2	3	10	30	40
	4	1		1	10		10
	5						
沖 永 良 部 与 論 地 区 広 域 事 務 組 合	3		1	1		15	15
	4						
	5						
徳 之 島 地 区 消 防 組 合	3		1	1		18	18
	4						
	5						
熊 毛 地 区 消 防 組 合	3		1	1		21	21
	4						
	5						
大 島 地 区 消 防 組 合	3	1		1	16		16
	4						
	5						
県 計	3	10	18	28	110	224	334
	4	5		5	56		56
	5	1		1	14		14

※ 省令3は省令第3条の規定による救助隊、省令4は省令4条の規定による救助隊（特別救助隊）、省令5は省令第5条の規定による救助隊（高度救助隊）

表-19 救助隊が搭乗する車両

区分 消防本部名	救 助 車	はしご車	屈 折 はしご車	ポンプ車	水 槽 付 ポンプ車	化 学 車	そ の 他	計
	鹿児島市消防局	3						
出水市消防本部	1	1						2
垂水市消防本部							1	1
薩摩川内市消防局	1				1			2
日置市消防本部	1							1
霧島市消防局	2	2						4
いちき串木野市 消防本部	1	1						2
姶良市消防本部	1							1
三 島 村								
十 島 村								
さつま町消防本部	1							1
指宿地区消防組合	1	1			2			4
南薩地区消防組合	2	1	1					4
阿久根地区消防組合	1							1
伊佐湧水消防組合	2							2
大隅曾於地区消防組合	2	1			2			5
大隅肝属地区消防組合	1	1					1	3
沖永良部与論地区 広域事務組合	1							1
徳之島地区消防組合	1							1
熊毛地区消防組合	1							1
大島地区消防組合	1	1		1		1		4
県 計	24	9	1	1	5	1	2	43

2 救助業務実施状況

表-20 平成3年以降の救助業務実施状況の推移

(単位：件、人)

	出動件数	活動件数	救助人員
平成3年	956	250	300
平成4年	1,028	297	350
平成5年	1,185	357	4,955
平成6年	1,221	307	358
平成7年	1,049	306	332
平成8年	1,126	330	344
平成9年	1,138	359	415
平成10年	1,107	405	440
平成11年	1,137	428	495
平成12年	1,093	500	583
平成13年	1,158	519	594
平成14年	1,188	505	613
平成15年	1,153	458	548
平成16年	1,320	491	570
平成17年	1,259	591	552
平成18年	757	452	664
平成19年	772	484	732
平成20年	716	462	527
平成21年	771	509	669
平成22年	713	480	629

平成22年中における救助業務の実施状況は、表-20のとおりであり、救助出動件数713件、救助活動件数480件、救助人員629人となっている。

これを前年と比較すると出動件数は3件(0.4%)の減少、活動件数は18件(3.9%)の増加、救助人員は102人(19.4%)の減少となっている。

表-21-1 事故種別出動件数及び活動人員の状況

(単位：件、人)

区分	事故種別	火災	交通事故	水難事故	風自水然 害災 等害	機事 械に よる 故	建よ 物る 等事 に故	ガ酸 ス欠 及事 び故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
鹿児島市消防局		36	37	17		4	6	8		31	139
出水市消防本部		1	14	1		2		1		4	23
垂水市消防本部			10	1						1	12
薩摩川内市消防局		2	37	5	2	1	2			8	57
日置市消防本部			9	3						4	16
霧島市消防局		1	55	3	3	1	5			21	89
いちき串木野市 消防本部			9	2			1			5	17
姶良市消防本部			40	7		2				40	89
三島村											
十島村											
さつま町消防本部			10			2				3	15
指宿地区消防組合			6	5			1			12	24
南薩地区消防組合		1	40	6		1				8	56
阿久根地区消防組合			9	1		1				6	17
伊佐湧水消防組合			12							4	16
大隅曾於地区消防組合			17	3	1	3				8	32
大隅肝属地区消防組合			24	2		3				14	43
沖永良部与論地区 広域事務組合			5			3				1	9
徳之島地区消防組合			1	2						2	5
熊毛地区消防組合			6	4		1				6	17
大島地区消防組合			9	12	2					14	37
救助出動件数 計		41	350	74	8	24	15	9		192	713
救助 出動 人員	専任救助隊員	263	597	213	9	52	44	50		354	1,582
	兼任救助隊員	6	499	70	19	20	18			143	775
	消防隊員	867	1,083	297	41	67	45	46		622	3,068
	救急隊員	135	1,351	217	12	62	42	30		554	2,403
	消防団員	580	3	8	10					108	709
	計	1,851	3,533	805	91	201	149	126		1,781	8,537

表-21-2 事故種別活動件数及び活動人員の状況

(単位：件、人)

事故種別 消防本部名	火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	風 自 水 然 害 災 等 害	機 事 械 に よ る 故	建 よ 物 る 等 事 に 故	ガ 酸 ス 欠 及 事 び 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
鹿児島市消防局	36	27	17		2	5	4		25	116
出水市消防本部	1	9	1				1		3	15
垂水市消防本部		9	1						1	11
薩摩川内市消防局	2	14	4		1	2			5	28
日置市消防本部		5	1						3	9
霧島市消防局	1	24		2	1	4			16	48
いちき串木野市 消防本部		5	1			1			4	11
姶良市消防本部		38	7		2				36	83
三島村										
十島村										
さつま町消防本部		7			1				2	10
指宿地区消防組合		5	4			1			12	22
南薩地区消防組合	1	15	4		1				5	26
阿久根地区消防組合		3	1		1				4	9
伊佐湧水消防組合		4							2	6
大隅曾於地区消防組合		12	1		3				5	21
大隅肝属地区消防組合		9	1		2				9	21
沖永良部与論地区 広域事務組合		4			3				1	8
徳之島地区消防組合		1	2						2	5
熊毛地区消防組合		5	2		1				2	10
大島地区消防組合		2	8	2					9	21
救助活動件数 計	41	198	55	4	18	13	5		146	480
救助活動人員	専任救助隊員	174	270	159		33	25	28	191	880
	兼任救助隊員	2	180	39	3	13	15		86	338
	消防隊員	360	496	205	19	38	28	23	422	1,591
	救急隊員	78	693	156	3	42	27	15	385	1,399
	消防団員	161			10				90	261
計	775	1,639	559	35	126	95	66	1,174	4,469	

(注) 「救助活動件数」とは、救助出動件数のうち、実際に救助活動を行った件数をいう。

表-21-3 事故種別救助人員の状況

(単位：人)

事故種別 消防本部名	火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	風自 水然 害災 等害	機事 械に よる 故	建よ 物る 等事 に故	ガ酸 ス欠 及事 び故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
鹿児島市消防局	16	47	16		2	4	2		25	112
出水市消防本部	1	12	1				1		3	18
垂水市消防本部		58	7						8	73
薩摩川内市消防局		17	3		1	2			5	28
日置市消防本部		5	2						3	10
霧島市消防局	1	24		1	1	4			15	46
いちき串木野市消防本部		5	1			1			4	11
姶良市消防本部		70	10		2				36	118
三島村										
十島村										
さつま町消防本部		7			1				2	10
指宿地区消防組合		5	6			1			12	24
南薩地区消防組合	4	19	4		1				13	41
阿久根地区消防組合		3	1		1				4	9
伊佐湧水消防組合		8							2	10
大隅曾於地区消防組合		16	1		3				5	25
大隅肝属地区消防組合		20	1		2				9	32
沖永良部与論地区 広域事務組合		6			3				1	10
徳之島地区消防組合		1	3						2	6
熊毛地区消防組合		9	8		1				2	20
大島地区消防組合		2	9	6					9	26
救助人員 計	22	334	73	7	18	12	3		160	629

表-22 救助活動のための機械器具等の保有状況（救助隊保有分）

一般用救助用器具	かぎ付きはしご	31	隊員保護用器具	耐電手袋	101
	三連はしご	29		耐電衣	28
	金属折りたたみはしご又はワイヤはしご	20		耐電ズボン	19
	空気式救助マット	24		耐電長靴	70
	救命索発射銃	36		防塵メガネ	114
	サバイバースリング又は救助用縛帯	96		携帯警報器	65
	平坦架	15		防毒マスク	69
	重量物排除用器具	油圧ジャッキ		35	化学防護服（陽圧式化学防護服を除く）
油圧スプレッダー		15	陽圧式化学防護服	38	
可搬ウィンチ		32	耐熱服	18	
マンホール救助器具		14	放射線防護服	63	
救助用簡易起重機		2	特殊ヘルメット	7	
マット型空気ジャッキ		32	除染シャワー	1	
大型油圧スプレッダー		15	除染剤散布器	2	
救助用支柱器具		8	水難救助用器具	潜水器具	71
チェーンブロック		7		救命胴衣	236
切断用器具		油圧切断機		18	水中投光器
	エンジンカッター	31		救命浮環	90
	ガス溶断機	20		浮標	21
	チェーンソー	32		救命ボート	10
	鉄線カッター	46		船外機	11
	空気鋸	24		水中スクーター	1
	大型油圧切断機	15		水中無線機	2
	空気切断機	13		水中時計	6
	コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー	5	水中テレビカメラ	1	
	破壊用器具	万能斧	67	山岳救助器具	16
ハンマー		34	バスケット型担架	30	
携帯用コンクリート破壊器具		11	検用器具	簡易画像探索機	4
削岩機		17		画像探索機	7
ハンマドリル		11	高度救助器具	地中音響探知機	2
測定用器具		生物剤検知器		2	熱画像直視装置
	可燃性ガス測定器	17		夜間暗視装置	2
	有毒ガス測定器	22		水中探査装置	1
	酸素濃度測定器	13		地震警報器	1
	放射線測定器	19	その他救助用器具	投光器	49
呼吸保護用器具	空気呼吸器	160		携帯投光器	48
	空気補充用ポンペ	198		携帯拡声器	49
	酸素呼吸器	24		携帯無線機	50
	簡易呼吸器	9		応急処置用セット	20
	防塵マスク	96		車両移動器具	11
	送排風機	27		緩降機	25
	エアラインマスク	2		ロープ登降機	32
				救助用降下機	10
		発電機		50	

第3 自衛隊災害派遣による急患搬送

離島における医療体制の実情により、現地では治療困難な患者で、一刻も早く専門病院での手当が必要である者に対して、昭和36年から自衛隊に対し、災害派遣要請（航空機搬送）を実施している。

搬送機関・活動範囲

海上自衛隊第1航空群 鹿屋航空分遣隊（鹿屋市）
十島村以北

陸上自衛隊第15旅団 第15飛行隊（沖縄県那覇市）
奄美大島以南

1 自衛隊災害派遣（離島急患搬送）の状況

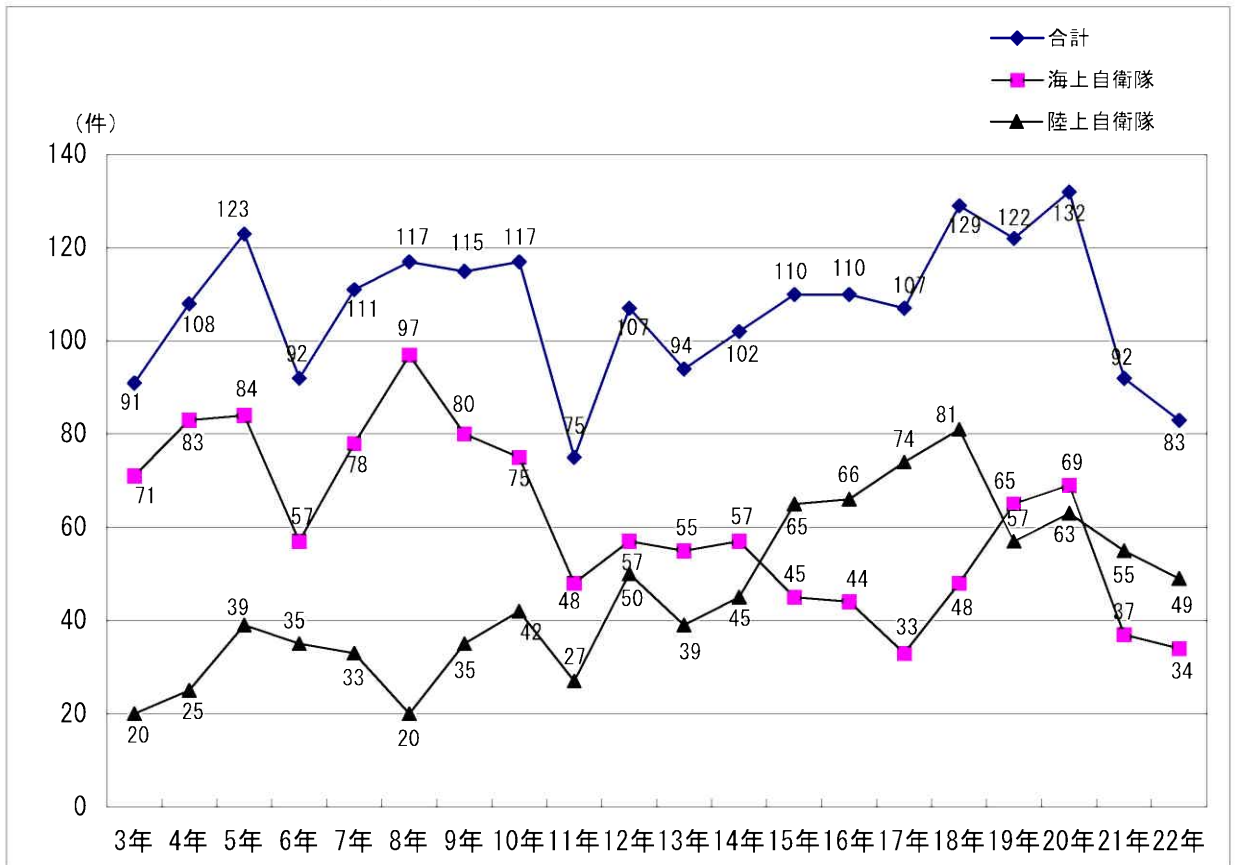
平成22年中における急患搬送出動件数は83件である。（図-3）

出動件数83件を郡別にみると、大島郡（奄美市を含む）が56件（全体の67.5%）で、次に熊毛郡（西之表市を含む）が18件（同21.7%）、鹿児島郡等が8件（同9.6%）、薩摩川内市が1件（同1.2%）となっている。（図-4及び表-23）

また、月別では、10月の11件が最も多く、時間帯別（派遣要請時間）では12時から14時までが12件で最も多くなっている。（表-24）

平成22年中の搬送人員を傷病別にみると、内臓疾患によるものが30人（全体の36.1%）で最も多く、次に脳疾患が17人（同20.5%）となっている。（表-25及び表-26）

図-3 昭和61年以降の災害派遣（急患搬送）出動件数



（注）「海上自衛隊」には、教育航空集団を、「陸上自衛隊」には南西航空混成団をそれぞれ含んでいる。

図-4 平成3年以降の市・郡別災害派遣（急患搬送）の出動件数（その1）

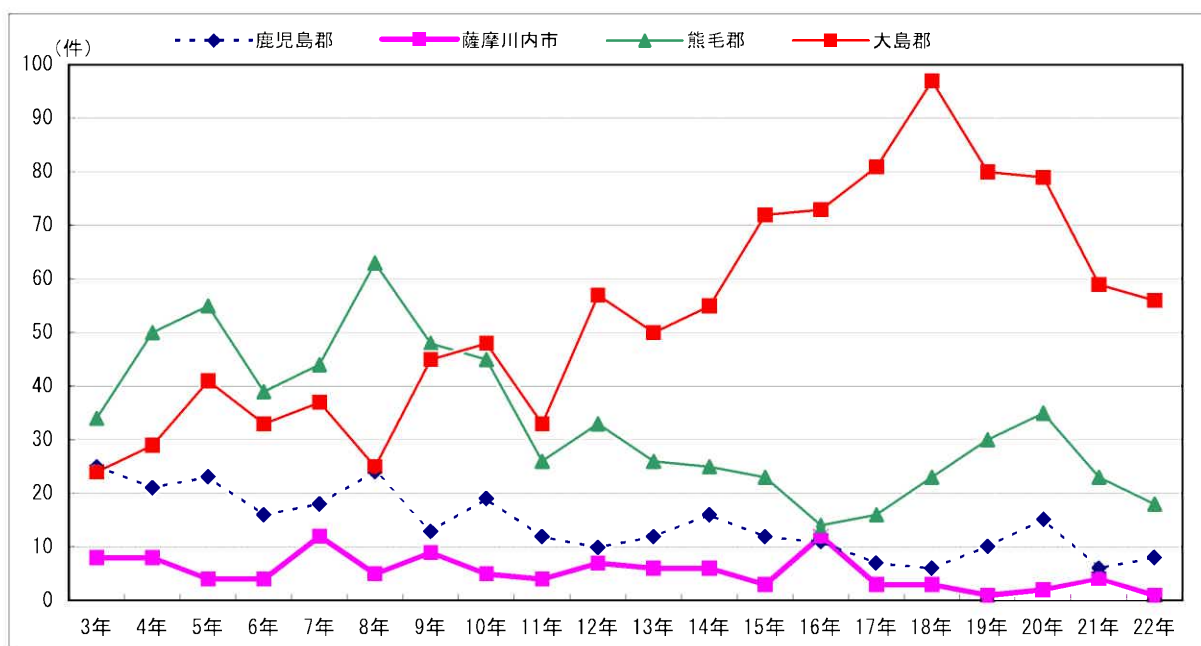


表-23 平成3年以降の市・郡別災害派遣（急患搬送）出動件数（その2）

（年中）

年	郡別	計	鹿児島郡	薩摩川内市	熊本郡	大島郡	計のうち不搬送件数
平成3年		91 (20)	25	8	34	24 (20)	
4		108 (25)	21	8	50	29 (25)	鹿屋1件
5		123 (39)	23	4	55	41 (39)	鹿屋1件
6		92 (35)	16 (2)	4	39	33 (33)	沖縄1件
7		111 (33)	18	12	44	37 (33)	
8		117 (21)	24	5	63	25 (21)	
9		115 (35)	13	9	48	45 (35)	鹿屋1件
10		117 (42)	19	5	45	48 (42)	鹿屋1件
11		75 (27)	12	4	26	33 (27)	鹿屋1件
12		107 (50)	10	7	33	57 (50)	鹿屋2件
13		94 (39)	12	6	26	50 (39)	鹿屋2件
14		102 (45)	16	6	25	55 (45)	鹿屋2件
15		110 (65)	12	3	23	72 (65)	
16		110 (66)	11	12	14	73 (66)	
17		107 (74)	7	3	16	81 (74)	
18		129 (81)	6 (1)	3	23	97 (80)	鹿屋1件
19		122 (57)	11	1	30	80 (57)	鹿屋2件、沖縄2件
20		132 (63)	16	2	35	79 (63)	鹿屋1件
21		92 (55)	6	4	23	59 (55)	
22		83 (49)	8 (1)	1	18	56 (48)	鹿屋1件、沖縄2件
計		2,137 (921)	286 (4)	107	670	1074 (917)	沖縄分構成比 (43.1%)
構成比率		100.0%	13.4%	5.0%	31.4%	50.3%	

- （注） 1 （ ）内は沖縄自衛隊出動件数の内書きである。
 2 便宜上、熊本郡には西之表市、大島郡には奄美市をそれぞれ含めている。
 3 平成7年、12年、14年、19年及び20年の鹿児島郡には、各年1件ずつ、離島外からの搬送を含む。

表-24 平成3年以降の月別及び時間帯別災害派遣（離島急患搬送）出動件数

区分		年別									
		3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
月別	1	4 (1)	9 (3)	12 (5)	10 (4)	11 (4)	8 (1)	9 (2)	10 (2)	5 (1)	12 (8)
	2	8	6 (3)	5	7 (1)	12 (8)	12 (4)	11 (4)	13 (5)	5 (2)	12 (6)
	3	8 (1)	12 (2)	9 (1)	6 (1)	6 (1)	7 (2)	8 (3)	11 (6)	13 (5)	4 (1)
	4	8 (1)	5 (2)	6 (1)	7 (2)	7 (1)	7 (2)	15 (9)	13 (4)	4 (3)	6 (3)
	5	8 (3)	10 (2)	13 (2)	7 (5)	10 (4)	9	8 (2)	8 (3)	9 (4)	9 (6)
	6	9 (2)	7	8 (3)	6 (3)	7	7 (1)	7 (1)	9 (7)	2	11 (6)
	7	5 (2)	7 (1)	7 (2)	11 (5)	8 (2)	13 (1)	7 (2)	11 (6)	11 (5)	7 (4)
	8	8 (4)	8 (1)	11 (1)	5 (2)	11 (4)	14 (3)	12 (2)	10 (1)	5	9 (4)
	9	9 (2)	10 (4)	17 (8)	12 (6)	10 (4)	9 (2)	3 (1)	4 (1)	4 (2)	7 (1)
	10	7 (1)	14 (3)	13 (5)	8 (3)	15 (2)	10 (2)	14 (4)	10 (4)	3 (2)	12 (4)
	11	7 (1)	8 (2)	5 (2)	5	7 (2)	5 (1)	8 (1)	3 (1)	6	12 (5)
	12	10 (2)	12 (2)	17 (9)	8 (3)	7 (1)	16 (2)	13 (4)	15 (2)	8 (3)	6 (2)
計		91 (20)	108 (25)	123 (39)	92 (35)	111 (33)	117 (21)	115 (35)	117 (42)	75 (27)	107 (50)
時間帯別	0~2	2 (1)	3 (3)	2 (1)	6 (2)	2	6 (3)	3 (1)	2	4	5 (1)
	2~4		4 (1)	3 (2)	1	3 (2)	4	3	1 (1)		5 (1)
	4~6		3 (2)	2 (2)	1	2	2	5 (2)	4 (2)	1 (1)	10 (8)
	6~8	3 (1)	5	2 (1)	2	5 (2)	6	7 (3)	4 (3)	3	4 (2)
	8~10	16 (1)	9 (1)	13 (3)	10 (3)	8 (1)	11 (2)	7 (3)	11 (6)	8 (4)	11 (9)
	10~12	14 (5)	18 (5)	19 (4)	18 (7)	17 (4)	13 (2)	20 (9)	17 (7)	8 (7)	9 (6)
	12~14	15 (2)	22 (4)	20 (11)	15 (6)	17 (3)	13 (1)	11 (1)	20 (7)	8 (3)	4 (3)
	14~16	11 (2)	12 (3)	17 (4)	12 (8)	21 (5)	18 (2)	13 (2)	15 (6)	11 (3)	8 (4)
	16~18	14 (6)	11 (3)	14 (3)	6 (2)	9 (1)	10 (3)	13 (5)	14 (4)	12 (3)	14 (5)
	18~20	5 (1)	6	16 (5)	10 (2)	13 (8)	18 (6)	21 (6)	10 (3)	8 (4)	17 (3)
	20~22	5 (1)	8 (2)	8 (1)	3 (1)	9 (5)	5	8 (2)	14 (2)	8 (2)	10 (2)
	22~24	6	7 (1)	7 (2)	8 (4)	5 (2)	11 (2)	4 (1)	5 (1)	4	10 (6)

(注) 1 ()内は沖縄自衛隊出動件数の内書きである。

2 「時間帯」は、自衛隊への派遣要請時間である。

(年中)

13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	H3~22年
8 (5)	5 (2)	5 (2)	10 (6)	9 (5)	11 (5)	8 (4)	21 (11)	12 (5)	7 (4)	186 (80)
5 (3)	8 (5)	4 (4)	15 (10)	8 (8)	11 (8)	8 (3)	9 (4)	8 (8)	9 (7)	176 (93)
8 (2)	8 (4)	13 (5)	10 (4)	10 (7)	9 (7)	16 (10)	15 (6)	4 (4)	3 (2)	180 (74)
5 (2)	2 (1)	8 (5)	9 (5)	10 (7)	11 (7)	9 (6)	9 (3)	6 (4)	7 (3)	154 (71)
6 (1)	11 (3)	11 (9)	7 (6)	11 (7)	7 (6)	4 (1)	9 (6)	9 (5)	5 (4)	171 (79)
7 (5)	5 (4)	12 (5)	4 (3)	8 (6)	11 (5)	10 (4)	5 (3)	7 (6)	6 (4)	148 (68)
6 (3)	13 (7)	9 (5)	7 (4)	7 (6)	11 (7)	2 (2)	7 (4)	6 (5)	5 (3)	160 (76)
8 (2)	7 (4)	5 (3)	4 (2)	5 (5)	13 (7)	11 (6)	10 (5)	10 (5)	6 (4)	172 (65)
10 (4)	14 (3)	8 (7)	15 (11)	8 (5)	8 (4)	7 (3)	4 (2)	8 (3)	5 (4)	172 (77)
9 (4)	13 (5)	13 (5)	10 (7)	13 (10)	6 (5)	21 (8)	12 (4)	9 (5)	11 (1)	223 (84)
17 (4)	8 (2)	11 (7)	11 (6)	8 (4)	17 (9)	13 (4)	18 (8)	6 (1)	10 (4)	185 (64)
5 (4)	8 (5)	11 (8)	8 (2)	10 (4)	14 (11)	13 (6)	13 (7)	7 (4)	9 (9)	210 (90)
94 (39)	102 (45)	110 (65)	110 (66)	107 (74)	129 (81)	122 (57)	132 (63)	92 (55)	83 (49)	2137 (921)
2 (1)	6	10 (6)	6 (3)	3 (3)	6 (3)	2 (1)	6 (1)	9 (3)	7 (6)	92 (39)
5 (3)	9 (4)	2 (1)	2 (1)	4 (2)	3 (2)	2 (1)	4 (2)	2 (1)	3	60 (24)
6 (1)	3 (1)	2	5 (4)	4 (2)	5 (3)	5 (2)	3 (2)	3 (1)	1 (1)	67 (34)
2 (2)	3 (3)	3 (2)	6 (3)	10 (8)	5 (3)	7 (4)	3	2 (1)	1	83 (38)
6 (4)	11 (6)	19 (16)	13 (9)	7 (5)	11 (5)	13 (4)	13 (4)	4 (2)	9 (6)	210 (94)
12 (6)	12 (6)	21 (12)	21 (15)	14 (9)	21 (14)	19 (11)	12 (6)	13 (11)	9 (4)	307 (150)
8 (5)	8 (4)	9 (7)	11 (6)	11 (10)	19 (13)	11 (7)	15 (11)	11 (7)	12 (6)	260 (117)
8 (3)	8 (5)	6 (6)	12 (10)	8 (5)	5 (3)	10 (5)	18 (10)	9 (7)	11 (8)	233 (101)
16 (4)	12 (4)	12 (6)	9 (3)	14 (9)	18 (15)	10 (3)	11 (8)	11 (5)	7 (5)	237 (97)
8 (4)	16 (8)	5 (1)	11 (7)	9 (6)	13 (7)	21 (5)	11 (4)	10 (5)	5 (2)	233 (87)
9 (3)	9 (4)	14 (5)	9 (3)	14 (8)	11 (8)	13 (8)	13 (5)	7 (5)	10 (6)	187 (73)
12 (3)	5	7 (3)	5 (2)	9 (7)	12 (5)	9 (6)	23 (10)	11 (7)	8 (5)	168 (67)

表-25 平成22年中の市町村別搬送人員傷病別内訳

傷病別 市町村別		合 計	交通事故		労働災害		脳疾患	頭部損傷 (一般負傷)	産科・ 婦人科	小児科	内臓疾患	その他
			頭部	その他	頭部	その他						
鹿児島郡	三島村	4 (1)					1				1	2 (1)
	十島村	4									2	2
薩摩川内市		1					1					
熊毛郡 (西之表市含)	西之表市	6							5		1	
	中種子町	1									1	
	南種子町	3							1		1	1
	屋久島町	8	1				1	1			4	1
大島郡 (奄美市含)	奄美市	10 (4)					4		2 (2)		4 (2)	
	龍郷町											
	大和村											
	宇検村											
	瀬戸内町	1							1			
	喜界町	18 (18)					5 (5)	1 (1)	1 (1)		8 (8)	3 (3)
	徳之島町	9 (9)					1 (1)	1 (1)	2 (2)	1 (1)	3 (3)	1 (1)
	天城町	3 (2)					1		1 (1)	1 (1)		
	伊仙町	5 (5)					2 (2)	1 (1)			2 (2)	
	和泊町	2 (2)									1 (1)	1 (1)
	知名町	4 (4)					1 (1)		1 (1)		1 (1)	1 (1)
与論町	4 (4)	1 (1)	1 (1)							1 (1)	1 (1)	
計		83 (49)	2 (1)	1 (1)			17 (9)	4 (3)	14 (7)	2 (2)	30 (18)	13 (8)

(注1) ()内は、沖縄自衛隊搬送人員の内書きである。

表-26 平成3年以降の離島急患搬送人員及び傷病別内訳

(年中)

傷病別 年別	計	交通事故		労働災害		脳疾患	頭部損傷 (一般負傷)	産科・ 婦人科	小児科	内臓疾患	その他
		頭部	その他	頭部	その他						
3	93 (21)	3	5 (3)	3 (1)	7 (2)	21 (5)	1	6	5	20 (4)	22 (6)
4	109 (25)	4	1		7	33 (4)	7 (1)	2 (2)	7	41 (15)	7 (3)
5	125 (41)	1 (1)				54 (13)	8 (2)	10 (5)	5 (1)	30 (15)	17 (4)
6	93 (33)	3 (2)	2 (1)		3	26 (12)	7 (4)	10 (3)	1	29 (9)	12 (2)
7	115 (33)	1 (1)	3	1	4	35 (12)	10 (5)	10 (5)		49 (10)	2
8	126 (25)	5 (1)	5 (1)		5 (2)	28 (4)	14 (2)	5 (2)	2 (2)	60 (11)	2
9	116 (37)	1 (1)	2 (1)	4 (1)	5 (1)	32 (10)	3 (1)	3 (1)	11 (4)	51 (16)	4 (1)
10	117 (43)	1 (1)	3 (2)		3	33 (11)	2 (1)	10 (6)	6 (1)	52 (18)	7 (3)
11	75 (28)	2	1 (1)	1	1	13 (6)	5 (2)	6 (2)	4	37 (15)	5 (2)
12	106 (51)	3 (2)	1 (1)		2	30 (18)	3 (3)	12 (6)	7 (3)	45 (18)	3
13	92 (39)	1 (1)	2	2 (1)	5 (1)	20 (9)	2 (2)	4 (3)	5 (2)	41 (16)	10 (4)
14	102 (46)	1 (1)	4 (3)		4 (2)	15 (5)	7 (3)	5 (4)	13 (8)	48 (18)	5 (2)
15	110 (66)	2 (1)	2 (1)		4 (1)	30 (15)	3 (1)	12 (11)	10 (9)	38 (22)	9 (5)
16	111 (66)	1 (1)	1 (1)		1	23 (11)	2 (1)	13 (8)	20 (16)	47 (28)	3
17	111 (66)		1			21 (16)	4 (2)	21 (15)	5 (5)	46 (30)	5 (3)
18	126 (79)		4 (4)	1 (1)	2 (1)	24 (9)		29 (20)	11 (7)	51 (35)	4 (2)
19	117 (55)		1 (1)		4 (2)	19 (11)		21 (11)	15 (7)	47 (20)	10 (3)
20	131 (64)	1	1		3 (1)	29 (17)	2 (1)	23 (9)	18 (11)	45 (21)	9 (4)
21	93 (56)	1 (1)	2	2 (1)	1	19 (11)		16 (10)	10 (6)	37 (25)	5 (2)
22	83 (49)	2 (1)	1 (1)			17 (9)	4 (3)	14 (7)	2 (2)	30 (18)	13 (8)

(注) 本表は、鹿屋の海上自衛隊第1航空群及び沖縄の陸上自衛隊第15旅団（内書き）が搬送した人員である。

第4 消防・防災ヘリコプターの活動

1 消防・防災ヘリコプターの導入

県では、大規模災害時における広範な消防防災活動を行うほか、急患搬送、災害危険箇所の調査点検などに幅広く活用するとともに、災害時の被害状況をよりの確かかつ迅速に把握するため、消防・防災ヘリコプター「さつま」を導入し、平成10年4月1日、運航拠点となる枕崎空港に防災航空センターを設置するとともに枕崎、指宿、南さつまの3消防組合・本部から派遣された消防職員6名で編成する鹿児島県防災航空隊を発足させた。

なお、平成21年10月1日から、ドクターヘリ導入までの間、消防・防災ヘリの積極的活用として、本土内の救急搬送を開始した。

2 消防・防災ヘリコプターの活動内容

消防・防災ヘリコプターは以下の活動を行うこととしている。

- (1) 災害応急対策活動
 - ア 被災状況等の調査及び情報収集活動
 - イ 食料、衣料その他の生活必需品及び復旧資材等の救援物資、人員等の搬送
 - ウ 災害に関する情報、警報等の伝達等広報宣伝活動
 - エ その他、災害応急対策活動上、特に、航空機による活動が有効と認められる場合
- (2) 救急活動
 - ア 山村、離島等からの救急患者の搬送
 - イ 傷病者発生地への医師搬送及び医療機材等の搬送
 - ウ 高度医療機関のない地域からの傷病者の病院搬送
 - エ 消防・防災ヘリの積極的活用としての本土内搬送
 - オ その他、救急活動上、特に、航空機による活動が有効と認められる場合
- (3) 火災防御活動
 - ア 林野火災等における空中からの消火活動
 - イ 被災状況調査及び情報収集活動
 - ウ 消防隊員、消防資機材等の搬送
 - エ その他、火災防御活動上、特に、航空機による活動が有効と認められる場合
- (4) 救助活動
 - ア 河川、海等での水難事故、山岳遭難事故等における搜索または救助
 - イ 高層建築物火災における救助
 - ウ 山崩れ等の被害により、陸上から接近できない被災者等の救助
 - エ 高速道路及び自動車専用道路での事故救助
 - オ その他、救助活動上、特に、航空機による活動が有効と認められる場合
- (5) 広域航空消防防災応援活動
 - ア 県が締結している他県との相互応援協定等による相互応援
- (6) 災害予防活動
- (7) 自隊訓練のための活動
- (8) 各種防災訓練等への参加等
- (9) その他知事が必要と認める活動

表-27 消防・防災ヘリコプター「さつま」の諸元・性能

型 式	ベル式412EP型
定 員	13名（増槽タンク非装着時15名）
最大全装備重量	5,398kg
空虚重量	3,820kg
有効搭載量	1,578kg
航 続 距 離	720km
最大巡航速度	259km/h
限界高度	6,096m
全 長	17.1m
全 幅	2.9m
全 高	4.6m

消火用水積載量	1,400 ^{リットル} (ドロップタンク)
---------	---------------------------------

表-28 消防・防災ヘリコプターの運航状況

(平成22年)

区分	月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	総計		
緊急運航	災害応急対策活動	件数			1		1							2	80件 129時間45分		
		時間			1:20		1:10									2:30	
	救急活動	件数	4	1	8	4	6	6	12	7	8	3	3	3		65	
		時間	6:45	2:05	19:05	4:45	8:40	9:10	13:30	12:00	9:10	4:30	2:30	6:10		98:20	
	火災防 御活動	件数		1												1	
		時間		1:20												1:20	
	救助活動	件数	2	3						2	3	1	1			12	
		時間	4:10	4:45						6:10	7:10	4:30	0:50			27:35	
	広域応援	件数														0	
		時間														0:00	
	災害予防活動	件数		2												2	2件
		時間		4:50												4:50	4時間50分
合同訓練	他県広域 関係	件数			1							1		2	18件 23時間20分		
		時間			2:15							3:00		5:15			
	県市町村 関係	件数	4						1	1	3	1				10	
		時間	4:00						1:00	4:10	1:50	1:00				12:00	
	合同訓練 事前訓練	件数		1						1	2			2		6	
		時間		0:50						0:45	2:50			1:40		6:05	
自隊訓練	件数	9	7	17	12	7	7	8	6	9		7	4	93	93件		
	時間	12:55	8:35	21:15	18:30	8:40	8:40	8:40	7:30	11:05		8:05	5:20	119:15	119時間15分		
その他	件数				1	2			4	1	1	2	12	23	23件		
	時間				1:00	0:50			12:30	0:55	0:30	0:50	25:55	42:30	42時間30分		
合計	件数	19	15	27	17	16	13	21	21	26	7	13	21	216	216件		
	時間	27:50	22:25	43:55	24:15	19:20	17:50	23:10	43:05	33:00	13:30	12:15	39:05	319:40	319時間40分		

表-29 消防・防災ヘリコプターの活動状況（H22年中）

(1) 災害応急対策活動状況

件数	回数	月 日	災害種別	発 生 場 所	時 間
1	1	3/30	ア	霧島市(新燃岳)	1:20
2	1	5/27	ア	霧島市(新燃岳)	1:10
2件 2回 2時間30分					

(2) 救急活動状況

件数	回数	月 日	災害種別	発 生 場 所	搬送人員	時 間
1	1	1/13	エ	出水市	1	2:00
2	1	1/18	エ	出水市	1	1:10
3	1	1/23	エ	出水市	1	1:55
4	1	1/31	ウ	屋久島町	1	1:40
5	1	2/22	ア	十島村(口之島)	1	2:05
6	1	3/2	ア	十島村(平島)	1	2:35
7	1	3/2	ア	十島村(諏訪瀬島)	1	2:20
8	1	3/8	ア	十島村(中之島)	1	2:35
9	1	3/14	ウ	屋久島町	1	1:35
10	1	3/16	ア	十島村(小宝島)	1	3:25
11	1	3/16	ア	十島村(中之島)	1	2:30
12	1	3/20	ア	十島村(中之島)	1	2:45
13	1	3/29	ア	西之表市	1	1:20
14	1	4/18	ア	薩摩川内市(下甑島)	1	1:05
15	1	4/22	ウ	屋久島町(不搬送)	0	0:30
16	1	4/22	ウ	屋久島町	1	1:35
17	1	4/27	オ	鹿児島市	1	1:35
18	1	5/1	ア	十島村(平島)	1	2:45
19	1	5/13	エ	指宿市	1	0:40
20	1	5/17	ウ	屋久島町	1	1:30
21	1	5/19	ウ	屋久島町	1	1:45
22	1	5/24	ウ	西之表市	1	1:10
23	1	5/31	エ	鹿屋市	1	0:50
24	1	6/7	ウ	西之表市	1	2:45
25	1	6/22	エ	指宿市	1	0:45
26	1	6/23	エ	出水市	1	1:15
27	1	6/23	イ	西之表市	0	0:50
28	1	6/23	ウ	西之表市	1	2:25
29	1	6/24	ウ	西之表市	1	1:10
30	1	7/2	ア	薩摩川内市(上甑島)	1	1:30
31	1	7/3	ウ	屋久島町	1	1:50
32	1	7/4	ウ	屋久島町	1	1:15
33	1	7/5	ア	三島村(竹島)	1	1:20
34	1	7/7	エ	鹿屋市	1	0:55
35	1	7/15	エ	鹿屋市	1	0:25
36	1	7/15	エ	鹿屋市	1	0:35
37	1	7/16	ア	薩摩川内市(上甑島)	1	1:15
38	1	7/20	ウ	屋久島町	1	1:25
39	1	7/21	エ	鹿屋市	1	0:55
40	1	7/26	エ	指宿市	1	0:40
41	1	7/26	ウ	屋久島町	1	1:25
42	1	8/3	ウ	屋久島町	1	1:50
43	1	8/7	ウ	屋久島町	1	1:25
44	1	8/23	ウ	屋久島町	1	1:25
45	1	8/26	ア	三島村(黒島)	1	1:20
46	1	8/27	エ	指宿市	1	0:40
47	1	8/29	ア	十島村(口之島)	1	2:10
48	1	8/30	ア	十島村(宝島)	1	3:10
49	1	9/6	エ	鹿屋市	1	0:50
50	1	9/7	ア	十島村(口之島)	1	2:10
51	1	9/11	エ	さつま町	1	0:55
52	1	9/17	ア	三島村(竹島)	1	1:10
53	1	9/18	エ	鹿屋市	1	0:50
54	1	9/19	オ	指宿市	1	0:15
55	1	9/25	ア	十島村(平島)	1	2:25
56	1	9/26	オ	屋久島町	1	0:35
57	1	10/4	エ	出水市	1	1:10
58	1	10/5	ウ	十島村(口之島)	1	2:05
59	1	10/7	ア	薩摩川内市(下甑島)	1	1:15

60	1	11/19	エ	指宿市	1	0:40
61	1	11/21	オ	霧島市	1	0:35
62	1	11/21	ウ	西之表市	1	1:15
63	1	12/7	エ	鹿屋市	1	0:45
64	1	12/11	ウ	屋久島町	1	1:35
65	1	12/23	ウ	鹿児島市	1	3:50
65件 65回 98時間20分						

(3) 火災防御活動状況

件数	回数	月 日	災害種別	発生場所	時間
1	1	2/5	ア	肝付町串良(林野火災)	1:20
1件 1回 1時間20分					

(4) 救助活動状況

件数	回数	月 日	災害種別	発生場所	時間
1	1	1/12	ア	肝付町岸良船間	2:10
2	1	1/14	ア	肝付町岸良船間	2:00
3	1	2/2	ア	南大隅町佐多	1:35
4	1	2/3	ア	南大隅町佐多	1:40
5	1	2/4	ア	南大隅町佐多	1:30
6	1	8/11	ア	薩摩川内市西方	4:10
7	1	8/12	ア	薩摩川内市西方	2:00
8	1	9/19	ア	指宿市開聞岳	0:25
9	1	9/26	ア	屋久島町紀元杉近く	2:20
10	1	9/30	ア	屋久島町麦生	4:25
11	1	10/1	ア	屋久島町麦生	4:30
12	1	11/21	ア	高千穂峰御鉢	0:50
12件 12回 27時間35分					

(5) 各種防火訓練等への参加等

件数	回数	月 日	訓練内容	訓練名及び実施場所	時間
1	1	1/10	救助	鹿児島市消防出初式	0:50
2	1	1/10	救助	南さつま市消防出初式	0:40
3	1	1/12	要員搬送	桜島火山爆発総合防災訓練	0:45
4	1	1/19	要員搬送・広報活動	原子力総合防災訓練	1:45
5	1	3/27	救助	鹿児島県・宮崎県航空隊合同訓練	2:15
6	1	7/1	救助	鹿児島市「防災の日」総合演習	1:00
7	1	8/4	救助	大島地区消防組合合同訓練	4:10
8	1	9/5	救急	南さつま市総合防災訓練	0:35
9	1	9/9	情報収集・救急	鹿児島市集団災害事故救急訓練	0:25
10	1	9/16	救助	鹿児島市消防局国際消防救助隊員降下訓練	0:50
11	1	10/3	情報収集・救助	石油コンビナート等総合防災訓練	1:00
12	1	10/8	情報収集	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練	3:00
12件 12回 17時間15分					